MUFGの「お客さま本位の取り組み」

- MUFGは、お客さま本位の取り組みの徹底を図るため、グループ共通の指針となる「MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針」を策定・公表しております。
- 本方針の下、グループ各社がお客さま本位の姿勢を共有し、商品・サービスのさらなる向上に取り組み、その取組 状況を定期的に公表しております。
- 当資料では、主に個人投資家の皆さま向けに、MUFGグループ各社の2021年度の取組状況、2022年度のアクションプランを具体的な指標(KPI)・取組事例とあわせて取り纏めております。

	MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針		
行動規範 1-1	1. お客さま本位の徹底	【原則2】1	P 3-5
誠実な行動	2. お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供	【原則6】	P 6
	3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践	【原則4·5·6·7】	P 7-14
行動規範 1-2	4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備	【原則3·6】	P 15-18
品質の追求	5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化	【原則3·6】	P 19-20
	6. 資産運用を支える資産管理総合サービスの品質向上	【原則2·6】	P 21
行動規範 1-3	7. グループ総合力を活用した金融サービスの提供	【原則2】	P 22
期待を超える	8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備	【原則6】	P 23
サービスの提供	9. プロフェッショナリズムの発揮	【原則2】	P 24
共通KPI			P 27-45

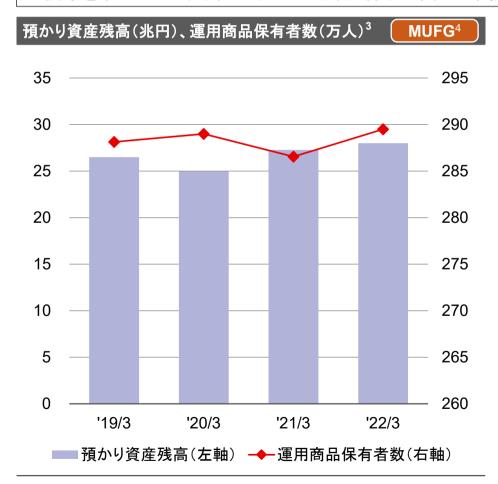
MUFGのグループ各社

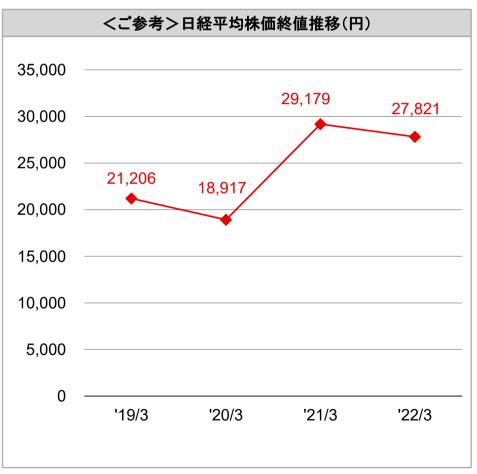
■ 2021年度の取組状況、2022年度のアクションプランおよび具体的な指標(KPI)を策定・公表しているグループ各社は、 以下の通りです。

グループ各社の担う主な機能・役割		
販売	商品開発∙運用	資産管理
三菱UFJ銀行 (銀行)		
	三菱UFJ信託銀行 (信託)	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券 (証券)		
三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券 ² (PB証券/19年度('20/3)まで)		
auカブコム証券 (カブコム)		
	三菱UFJ国際投信 (MUKAM)	
	エム・ユー投資顧問 (MUI)	
	三菱UFJオルタナティブインベストメンツ (MUAlts)	
		日本マスタートラスト信託銀行 (MTBJ)
		()は当資料におけるグループ各社の略称

1. お客さま本位の徹底

- (1) 社会的責任の重さを一人ひとりが十分に認識し、常に公明正大かつ誠実な姿勢と高い職業倫理を持ち、お客さま本 位の業務を徹底してまいります。 【原則2】
- 預かり資産残高は、足元の市況の変化による時価要因の影響もあり、増加しました。引き続き、中長期・資産分散型の 提案を中心とした取り組みなどにより、お客さま本位の業務を徹底してまいります。



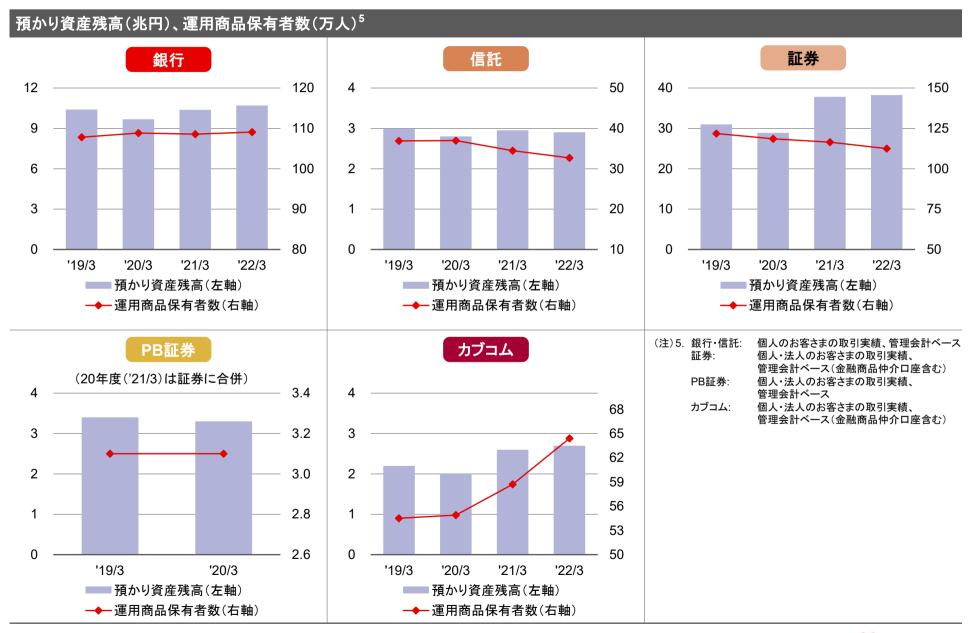


⁽注) 3. 個人のお客さまの取引実績、管理会計ベース





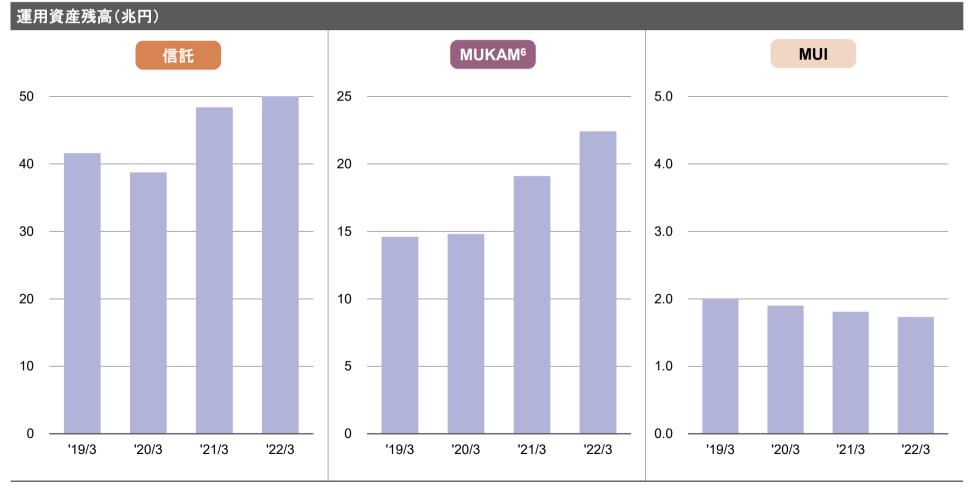
1. お客さま本位の徹底





1. お客さま本位の徹底

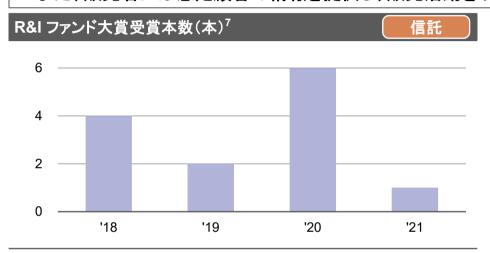
- 信託銀行およびエム・ユー投資顧問(MUI)では、主に機関投資家のお客さまの中長期的な投資ニーズに応える 商品を、三菱UFJ国際投信(MUKAM)では、主に個人のお客さまの資産形成に貢献する商品を開発・提供し、 お預かりした資産の運用により、お客さまに最良の投資成果をご提供することを目指しています。
- お客さまからお預かりした運用資産は、受託者責任の下、専ら受益者の皆さまの利益に忠実に運用・管理し、 中長期的な資産の成長に努めてまいります。

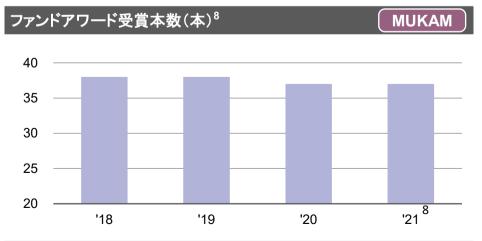


2. お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供

(1) 常にお客さま本位で考え、お客さまのニーズをとらえた商品を開発・提供してまいります。【原則6】

- 市場動向や、グローバル運用等のお客さまの多様な二一ズに応えるため、自社運用に加えて、高い目利き力による 外部運用も含めた商品を開発・提供しています。
- また、販売者には想定顧客の情報を提供し、販売活動をサポートしています。





くご参考>MUKAM「三菱UFJ 日本株オープン「35」」

- 当投資信託は、良好なパフォーマンスが評価され、モーニングスター"ファンド オブ ザ イヤー2021"および"R&Iファンド大賞 2022" で優秀ファンド賞を受賞いたしました。
- 当投資信託(1999年3月設定)は、主に中長期的な事業の収益性・成長性が見込まれ、かつ十分な投資成果が期待できると判断・選別した「35銘柄」に投資することで、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果をめざす商品です。35銘柄に絞り込んで投資することで綿密な情報分析と継続フォローを徹底するとともに、ポートフォリオのコアになる大型株の銘柄選択に加えて有望中小型成長株の発掘にも注力しています。
- 20年超の長期運用実績を有しており、直近10年間(2012年~2021年)のうち8年間でTOPIXを 上回る成果をあげています。
- なお、同じマザーファンドに投資 する三菱UFJ DC厳選日本成長 株オープンも、リフィニティブ・ リッパー・ファンド・アワードの 確定拠出年金部門で最優秀 ファンド賞を受賞いたしました。





⁽注) 7. 2019年6月公表-2022年6月公表までの数値

^{8.} ファンドアワード受賞本数は、R&Iファンド大賞(R&I)、モーニングスターファンドオブザイヤー(モーニングスター)、リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード (リフィニティブ・ジャパン)、一億人の投信大賞(選定委員3名による運営)、投信ブロガーが選ぶ!Fund of the Year(投信ブロガーによる運営委員会)の受賞合計 なお、'21の本数に一億人の投信大賞は未算入

- (1) お客さまの知識・経験・財産の状況およびお取引の目的に照らし、適切な商品をご提案するとともに、タイムリーかつ 丁寧なアフターフォローを行ってまいります。 【原則6】
- 商品のご提案にあたっては、お客さまの知識・経験・財産の状況や目的に照らして商品を選定しています。特に高齢のお客さまや投資の知識・経験が十分では無いお客さまへはリスクを抑えた商品をご提案する等、お客さまのライフステージや属性を踏まえ、各種シミュレーションツールを用いて、お客さまの課題解決に資するゴールベースでのご提案を行い、お客さまニーズに沿った商品をご提案してまいります。

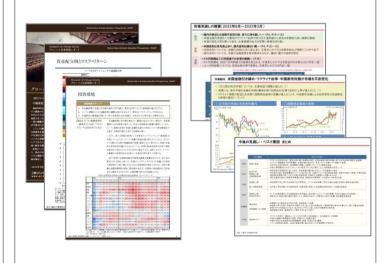
くご参考>シミュレーションツール*1

- MUFGでは、様々なポートフォリオ分析ツールを用い、お客さまのニーズやリスク許容度に応じたポートフォリオ提案を行っております。
- お客さまが保有する運用資産をリスク・リターンの状況も含めて可視化する ことで、お客さまの現状把握を促し、よりお客さまのご意向や目的に沿った ご提案となるよう努めています。



くご参考>ハウスビュー*2

■ 市場動向が大きく変化した場合等、相場見通 しや商品の運用状況をはじめ、お客さまの投 資判断に必要な情報をご提供するなど、タイ ムリーかつ丁寧なアフターフォローを行ってま いります。

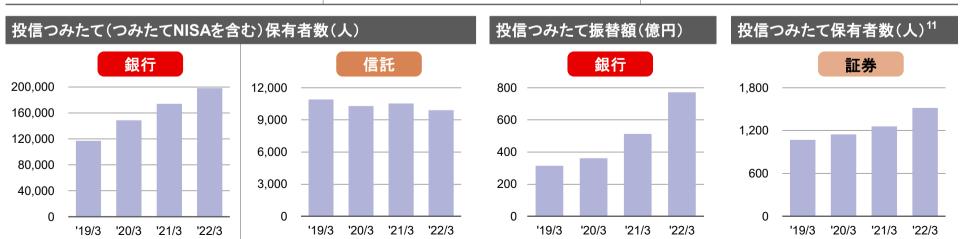


*2「ハウスビュー」とは、資産運用における組織としての公式な「投資見解」を指します



- 安定的な運用成果をご享受いただくため、ファンドラップやバランス型ファンド、複数の運用商品をお持ちいただくご提案をしております。また、お客さまの運用スタンスに応じた効率的な資産配分を意識して、コンサルティングを通じた資産運用のポートフォリオ提案を行っております。
- 時間分散・長期保有の観点では投信つみたてやつみたてNISA等をご提案しております。

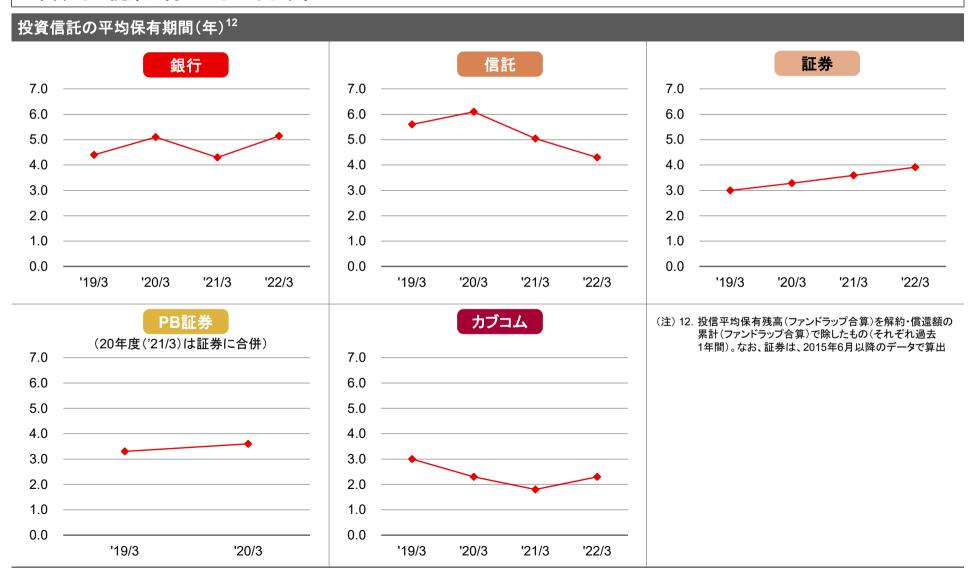
ラップロ座保有者数(人)・残高(億円)⁹ 信託 **証券**10 銀行 16.000 1.600 60.000 6.000 16.000 2.500 2.000 12.000 1.200 45.000 4.500 12.000 1.500 8.000 800 30,000 3.000 8.000 1.000 4.000 400 15.000 1.500 4.000 500 '20/3 '21/3 '20/3 '20/3 '21/3 '22/3 '19/3 '22/3 19/3 '21/3 '22/3 ファンドラップロ座保有者数(左軸) → 残高(右軸) ■ ラップロ座保有者数(左軸) → 残高(右軸) ■ ラップロ座保有者数(左軸) **→** 残高(右軸)



- (注) 9. 銀行はMUFGファンドラップ、信託は資産運用口座(プライベートアカウント等)とMUFGファンドラップの合計
 - 10. 個人口座のみ、21/3までGRAN GOALのみ、22/3からGRAN GOAL・Mirai Value
 - 11. 買付が行われた口座数



■ 平均保有期間は、ポートフォリオ提案活動による、運用資産組み換え等の影響から短期化も、引き続き中長期保有に 資するご提案に努めてまいります。





証券では、お客さまの投資方針やリスク許容度に応じて幅広い商品を組み合わせて運用いただく資産ポートフォリオ を重視しており、投資信託・ファンドラップに加えて株式・債券も含めた合算の運用損益状況でも評価しております。 合算の運用損益は安定的に推移しており、分散投資の効果を確認できております。 なお、投資信託と同様に、過去の売却や償還による実現損益を勘案した結果も公表いたします。 保有資産運用損益別顧客比率13 証券 40% 40% 33% 23% 21% 20% 20% 14% 12% 2021/3 2022/3 (実現損益を含む) 【2021年度の運用損益プラス顧客比率の状況】(実現損益を含まず) 100% 100% 74% 80% 80% 60% 60% 40% 40% 20% 20% 0%

くご参考>合質トータルリターンの公表

^{14.} 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。現在保有中の株式、債券、投資信託と、2014年12月以降(PB証券は2014年1月以降)に売却または償還となった株式、債券、投資信託の実現 損益が対象



証券

⁽注) 13. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「時価総額」。現在保有中の株式、債券、投資信託、ファンドラップが対象
14. 運用損益別顧客比率計算上の分母は「累積買付額」現在保有中の株式、債券、投資信託と 2014年12月以降(PR証券は2014年1月以降)に売却または償還と

(2) お客さまの理解度に応じて、商品やリスクの内容、手数料および市場動向等の情報を、きめ細かく提供してまいります。 【原則5】

- 商品のご提案にあたっては、より分かりやすい表現で商品の特色・リスク・手数料ならびに市場動向等のご説明を行い、 重要な情報は文字の大きさ、色等で特に目立つように表示する等の取組みを通じて、必要な情報を十分にご提供して まいります。なお、簡潔な情報提供および多様な商品の比較を容易にするため、重要情報シート(個別商品編)を順次 導入し、分かりやすく情報をご提供してまいります。また、お客さまに分かりやすい情報をご提供するためにタブレット 端末等を活用し、シミュレーションや図表等を用いて利益(リターン)、損失その他のリスク、取引条件を分かりやすくご 説明するよう取り組んでいます。
- その他、お客さまが商品をご選択いただきやすいようなご説明資料や、商品ご提案に際して、タブレット端末等を用いたポートフォリオ・運用シミュレーションのご提示等を通じて、お客さまと対話をしながら、より良いご提案につなげていく取組を行っております。







(3) お客さまの投資判断に資するよう、手数料等の透明性向上を図ります。【原則4】

■ 手数料等がどのようなサービスの対価であるかについて、お客さまに分かりやすい提供に努めてまいります。

手数料開示の考え方

銀行

■ 金融商品の勧誘・販売時は契約締結前交付書面、目論見書、販売用 資料等に基づき、重要な確認事項を纏めた「重要事項確認書」等を用 いて、お客さまがご理解されたかの確認をしております。今後、お客さ まの投資 判断に資するよう、商品毎の手数料等の透明性を高める ため、重要情報シート(個別商品編)を順次導入し、他の投資商品との 比較を含め、丁寧にご説明するように取り組みを進めてまいります。

信託

■ お客さまの投資判断に資するよう、商品毎の手数料等の透明性を 高めるため重要情報シート(個別商品編)を順次導入してまいります。 重要情報シートを用いて、手数料をはじめとした重要事項をより 分かりやすくご提示するとともに、他の投資商品との比較を含め、 丁寧にご説明するように取り組みを進めてまいります。

証券

- 投資信託の主要銘柄、公募仕組債、外貨建て保険にて重要情報 シートを導入し、購入時に支払う費用、継続的に支払う費用、 運用成果に応じた費用の3つの観点で開示を行っており、類似商品 との比較に使用いただけます。
- 引き続き、重要情報シート対象銘柄の拡大を進めてまいります。

手数料開示の具体的な取組

銀行

信言

証券

■ MUFGでは、公募仕組債における販売会社として の手数料を22年度より開示しております。

費用等について	この債券は、お客さまと当社との相対取引によりご購入いただきますので、購入対価のみ お支払いいただきます。
	なお、この購入対価には、本債券の販売・管理に関する役務の対価相当額として額面 金額の1.25%が含まれております(市場環境等により1.25%を下回ることがありま す)。
	本債券の組成から販売に至る過程においては、販売・管理に関する役務の対価相当額 のほかに組成のために必要なコストが発生しており、これらのコストも購入対価に含まれて おります。

■ また、外貨建一時払保険の手数料等重要な情報 を分かりやすく説明するため、重要情報シートを 導入しております。

くご参考>信託の取組(外貨建保険)

信託

■ 信託では、お客さま向け 交付のパンフレット内に、 各種手数料レンジを記 載し、手数料の見える 化を実施しております。







(4) お客さま本位の取組みに適合した業績評価体系を整備してまいります。【原則7】

- 投資期間や投資経験の違いおよび市場動向等によるお客さまの多様なニーズにお応えするため、幅広い商品を取り揃えてまいります。
- 商品提供会社から販売会社へ支払われる手数料や系列関係にとらわれることなく、お客さまの立場で資産形成に資する商品を選定し、お客さまにふさわしい商品をご提案してまいります。

業績評価体系

銀行

■ お客さまの利益・二一ズに資する総合的な営業活動を評価するために、担当者(役職員)に対してお客さま本位の取組方針・取組状況の周知を行い、長期的な視野にたったうえで、お客さまの最善の利益を追求する体制を構築してまいります。

信託

■ お客さまの利益・二一ズに資する総合的な営業活動を評価するために、特定の運用商品の販売に偏らない業績評価体系を継続していきます。また、顧客ロイヤルティを評価する業績評価体系を導入するとともに、より長期的な視野にたったうえで、お客さまの最善の利益を追求する体制を構築してまいります。

証券

■ ご信頼の証としてのお預り資産の拡大およびお客さまニーズ への対応力(プロフェッショナルとしての専門性向上)を評価 する体系を整備し、お客さまに寄り添った持続的な成長を 目指します。

くご参考>資産運用をお考えのお客さまへの「5つのお約束」

■ MUFGは、グループ共通の指針である「MUFG フィデューシャリー・デューティー基本方針」に基づき、「5つのお約束」を掲げ、お客さま本位の資産運用提案に取り組んでいます。







(5) お客さまの資産形成をサポートする様々な投資教育の機会を提供してまいります。【原則6】

- 2018年8月に立ち上げた「MUFG資産形成研究所」では、人生100年時代をより豊かに過ごしていただくための資産 形成・資産運用等に関する調査研究・情報提供を中立的な立場で行っています。
- 2021年度は「サステナビリティに関する意識と消費・投資行動」や「コロナ禍における行動変化と投資状況」についての調査等を実施し、調査結果をお客さまに広く活用していただくため、WEBサイトでの調査研究レポート公表、シンポジウム開催をはじめとした様々な機会で情報を発信いたしました。

くご参考> WEBサイトでのレポート掲載による情報提供

- ■「サステナビリティに関する意識と消費・投資行動調査」では、特に日本国内において、一般生活者の「消費者」「投資家」「従業員」としての側面に着目し、環境・社会課題への意識や行動について調査しました。
- SDGsへの関心や認知が広がる中で、「社会的課題解決の一手段としての投資」等、個人のお客さまが環境・社会課題について考える際のご参考としていただける情報を発信いたしました。



くご参考>シンポジウムの開催(2022年2月28日)

- 調査結果をご紹介するとともに、社会がサステナビリティ (SDGs、ESG等)に向かうなか、資産形成・投資普及の 観点から金融機関に求められること等を有識者と共に 考える場としてシンポジウムを開催しました。
- 個人のお客さまが共感するサステナブル投資、信頼される金融機関の在り方等についても議論され、当日のアンケートでは、約8割の方に「大変参考になった・参考になった」とご回答いただきました。





(1) お客さまの多様なニーズにお応えするため、幅広い商品を取り揃えてまいります。【原則6】

- 投資期間や投資経験の違いおよび市場動向等によるお客さまの多様なニーズにお応えするため、幅広い商品を取り揃えてまいります。
- 商品提供会社から販売会社へ支払われる手数料や系列関係にとらわれることなく、お客さまの立場で資産形成に資する商品を選定し、お客さまにふさわしい商品をご提案してまいります。

投資信託ラインアップ	プ(2022年3月ョ	₹)			銀行	信託	証券	カブコム	
	銀	行 ¹⁵	信	託16	証	券 ¹⁷	カブ:	カブコム ¹⁸	
カテゴリ	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	
国内債券	10	2%	10	2%	8	1%	44	3%	
国内株式	62	13%	59	13%	111	17%	270	17%	
海外債券	105	22%	131	28%	226	34%	304	19%	
先進国	69	15%	85	18%	140	21%			
ハイイールド	10	2%	13	3%	44	7%			
エマージング	26	6%	33	7%	42	6%			
海外株式	166	35%	131	28%	183	27%	505	32%	
先進国	141	30%	108	23%	153	23%			
エマージング	25	5%	23	5%	30	4%			
REIT	41	9%	36	8%	44	7%	122	8%	
バランス型	80	17%	86	18%	60	9%	218	14%	
その他	7	1%	14	3%	40	6%	102	7%	
合計	471	100%	467	100%	672	100%	1,565	100%	

- (注) 15. 窓販投信(インターネットバンキング専用ファンド含む)、金融商品仲介口座での取扱投信の合算。追加型投信のみ(外国籍投信、単位型投信は含まず)。 通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント
 - 16. 窓販投信(インターネットバンキング専用ファンド含む)。追加型国内投信のみ(外国籍投信、単位型・マネープールファンドは含まず)。通貨選択型ファンドは各コースを まとめて1ファンドとしてカウント
 - 17. 追加型投信のみ(外国籍投信を含み、単位型投信・マネープールファンド含まず)。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント
 - 18. 追加型投信のみ(外国籍投信、単位型投信含まず)。通貨選択型ファンドは各コースをまとめず各々1ファンドとしてカウント



- 生命保険は、お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実に努めてまいります。
- 足元は人生100年時代に対応する介護・認知症・年金二一ズにそなえる商品等を拡充しています。

生	命化	呆険ラインアップ	プ(2022年3月末)				銀行 信言	証券	
			銀	行	信	託	証券		
	F	ち 品種類	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	
	円建		6	27%	13	54%	5	38%	
		投資型年金	0	0%	0	0%	0	0%	
		定額年金	1	5%	4	0%	1	8%	
		終身	5	23%	9	17%	4	31%	
		介護•医療	0	0%	0	0%			
時払	外	·貨建	16	73%	11	46%	8	62%	
払		投資型年金	1	5%	1	4%	1	8%	
		定額年金	4	18%	3	13%	2	15%	
		終身	10	45%	6	25%	5	38%	
		養老	1	5%	1	4%			
	合	· i t	22	100%	24	100%	13	100%	
	終	身保険	7	26%	2	29%	2	100%	
	定	期保険	3	11%	0	0%			
亚	医	療・がん保険	12	44%	2	29%			
平準払	学	資保険	0	0%	0	0%			
払	年	金•養老保険	4	15%	1	14%			
	介	·護保険	1	4%	2	29%			
	合	·計	27	100%	7	100%	2	100%	



- 多様な商品をお客さまがご選択いただけるよう、的確な情報提供に努めております。
- 銀行・信託では、ファンドラップやバランス型ファンドなどの安定的な商品が、証券では2019年度に取り扱いを開始した ラップサービス、株式系ファンドが販売上位にランクインしております。

投資信託¹⁹販売額上位10銘柄、販売額割合(2021年度)

銀行

信託

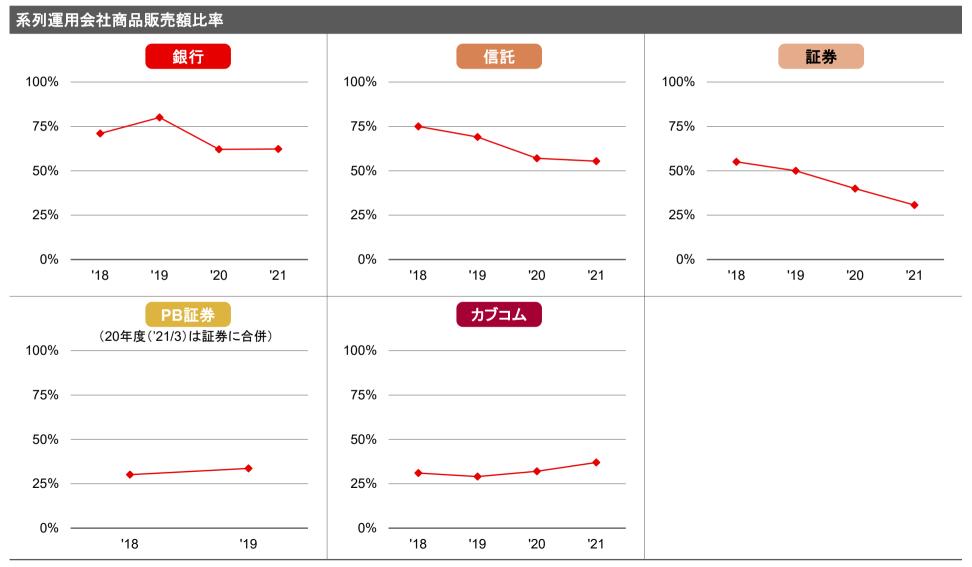
証券

No	ファンド名	区分20	毎月 販売 分配 割合	No ファンド名	区分20	毎月 分配		No	ファンド名		月 販売
1	eMAXIS 日経225インデックス	ベーシック	11%	1 MUFG ファンドラップ	ベーシック		23%	1	GRAN GOAL	ベーシック	13%
2	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ ファンド	ベーシック	8%	マニュライフ・円ハイブリッド債券 インカム・ファンド(年1回決算型)	ベーシック		6%	2	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株 投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アドバンスト(0 9%
3	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	ベーシック	6%	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株 3 投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型		0	5%	3	マニュライフ・円ハイブリッド債券 インカム・ファンド(年1回決算型)	ベーシック	4%
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長 株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジ なし)予想分配金提示型	アドバンスト	O 5%	ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	アドバンスト		4%	4	アライアンス・パーンスタイン・米国成長株 投信Cコース毎月決算型(為替ヘッジ あり)予想分配金提示型	アドバンスト(O 3%
5	三菱UFJ インデックス225オープン	ベーシック	4%	5 ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ ファンド	ベーシック		3%	5	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし)	アドバンスト	3%
6	マニュライフ・円ハイブリッド債券 インカム・ファンド(年1回決算型)	ベーシック	4%	6 シュローダー先進国債券ファンド2021-07 (限定追加型)	アドバンスト		3%	6	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株 投信Bコース(為替ヘッジなし)	アドバンスト	3%
7	MUFG ウェルス・インサイト・ファンド (標準型)	ベーシック	3%	7 フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	アドバンスト	0	2%	7	マニュライフ・円ハイブリッド債券 インカム・ファンド(3ヵ月決算型)	ベーシック	2%
8	ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	アドバンスト	2%	マニュライフ・円ハイブリッド債券 インカム・ファンド(3ヵ月決算型)	ベーシック		2%	8	モルガン・スタンレー グローバル・プレミア ム株式オープン(為替ヘッジなし)	アドバンスト	2%
9	eMAXIS Slim 国内株式(日経平均)	ベーシック	2%	9 三菱UFJ インデックス225オープン	ベーシック		2%	9	ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	アドバンスト	2%
10	マニュライフ・円ハイブリッド債券 インカム・ファンド(3ヵ月決算型)	ベーシック	2%	10 脱炭素テクノロジー株式ファンド	アドバンスト		2%		ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド (予想分配金提示型)	アドバンスト(0 2%

- (注) 19. 銀行: 窓販投信(インターネットバンキング専用ファンド含む)、ファンドラップ、金融商品仲介での取扱投信の合算
 - 信託: 窓販投信(インターネットバンキング専用ファンド含む)、ファンドラップの合算
 - 証券: 公募投信(ETF、REIT、短期金融型投信を除く)、ラップサービスの合算
 - 20. 「ベーシック」商品は、投資環境の変化に応じ資産配分を調整するタイプのバランス型ファンド、為替変動リスクを抑え高格付け債券で運用するファンド、インデックス運用の 株式ファンドのことで、これから資産運用を始められるお客さまやポートフォリオに組入れる基礎的な商品をご希望されるお客さま向けの商品。一方、「アドバンスト」商品は 特定の国や地域等に投資するアクティブ運用の商品で、独自のポートフォリオを組んで運用したいお客さまにもご満足できる幅広い投資対象となっているもの



(2) 系列関係にとらわれることのない、商品選定および販売手続き等を整備してまいります。【原則3】



5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化

(1) 既存の運用手法の改善や新たな投資機会の追求に努めるとともに、運用・管理体制の高度化を図ってまいります。 【原則6】

- 運用のプロフェッショナルとして、徹底した調査・分析と適切な運用判断により付加価値を創造するとともに、 プロダクトガバナンスの高度化にも努め、最良の投資成果をお客さまに提供していくことをめざしてまいります。
- 積立投資によるお客さまの資産形成に貢献するため、「つみたてNISA」の対象商品を提供しています。 そして、引き続きお客さまのニーズや投資環境に応じた商品拡充に努めてまいります。
- 積立投資は、金融商品を一定金額で定期的に購入することで、資産を育てていく投資手法です。 積立投資の期間が長くなるほど、1年当たりの価格変動のブレが小さくなる効果が期待されます。



<:		みたてNISA」対 E報酬推移 ²³	象商品全体の	MUKAM
0.40% —	•			
0.20% —				•
0.00% —				
0.0070	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3

「つみたてNISA」対象商品全体の積立投資パフォーマンス ²² MUKAM									
積立期間	1年	3年	5年	10年					
トータル リターン	9.2%	33.1%	15.2%	67.0%					
(年換算)	(9.2%)	(11.0%)	(3.0%)	(6.7%)					

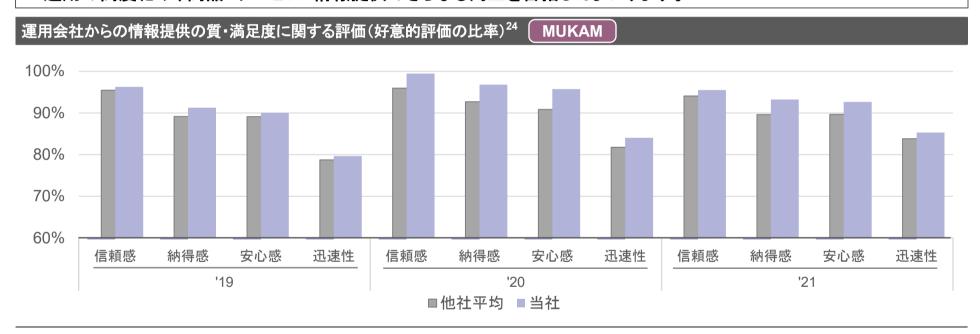
2022年3月末基準

- (注) 21. 「つみたてNISA」の対象商品は、手数料が低水準、頻繁に分配金が払われない等、長期・積立・ 分散投資に適した商品として法令上の要件を満たし、金融庁にて届出が受理されたファンド
 - 22. MUKAMの各「つみたてNISA」対象商品に、毎月一定額積立投資した場合のパフォーマンスを 残高加重平均して算出(税金は考慮していません)。過去の実績に基づいた試算結果であり、 将来の運用状況・成果を示唆・保障するものではありません
 - 23. MUKAMの各「つみたてNISA」対象商品の信託報酬率を残高加重平均して算出



5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化

- (2) 運用業務における独立性・透明性の確保を目的として、利益相反管理の徹底等運用機関としてのガバナンス態勢の 強化に加え、スチュワードシップ活動の実効性をさらに高めてまいります。【原則3】
- 運用の高度化に加え、「信頼感」「納得感」「安心感」「迅速性」のある情報提供ができているかを問う「個人投資家アンケート」を実施し、改善に努めています。引き続き、お客さまのご期待に応えられるよう、投資成果向上に向けた運用の高度化や、商品・サービス・情報提供のさらなる向上を目指してまいります。



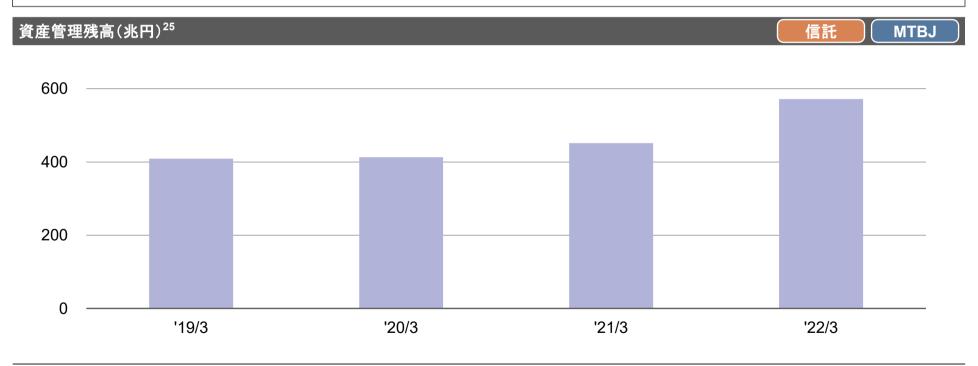
(注) 24. 調査概要/対象者: 追加型株式投信(除くETF)残高上位9社のファンドを保有する、対象運用会社の投信を3年以内に購入した全国20-79歳の男女を対象とした インターネット調査(回答数:各年度2.511名)

好意的評価: 保有するファンドの運用会社からの情報に対して、その運用会社に対する4項目のイメージについて「その通りである」「まあその通りである」と答えた割合



6.資産運用を支える資産管理総合サービスの品質向上

- (1) 資産管理業務における新分野の開拓と新技術の開発に積極的に取り組み、最高品質の資産管理総合サービスを 提供してまいります。【原則2】
- (2)資産管理に関する情報を幅広く、タイムリーに提供してまいります。【原則6】
- お客さまのグローバルかつ多様な投資ニーズに応えられるよう、新商品・新サービスへの取り組みを進めています。
- 先端技術を駆使した高い事務品質・生産性に加え、様々な環境変化等にも対応した安定したサービス提供に努めて まいります。





7. グループ総合力を活用した金融サービスの提供

- (1) グループ各社の商品・サービス、ノウハウおよびリソースを結集し、お客さまの資産・負債を総合的にとらえた金融 サービスをご提供することで、多様化するお客さまのニーズにお応えしてまいります。【原則2】
- 運用商品のご提供にとどまらず、次世代への資産承継も見据えながら、お客さまの資産・負債を総合的にとらえた 金融サービスをご提供してまいります。

くご参考> MUFGグループ総力をあげた、資産承継サポート

■ 円滑な資産承継のために、お客さまの多様なニーズに対し、トータルにお応えします

MUFGのサポート体制

承継に対するお客さまのお考え

経営戦略

資本戦略

運用方針

ライフイベント

お客さまをとりまく環境

市場・相場動向

税制等の諸制度

お客さまの資産マネジメントに対する多様なニーズ

グループ総力を挙げたソリューション提供

● 納税資金対策

• 分割方法対策

• 相続財産対策

• 事業承継対策

三菱UFJ銀行

MUFGグループ各社

提携外部専門家





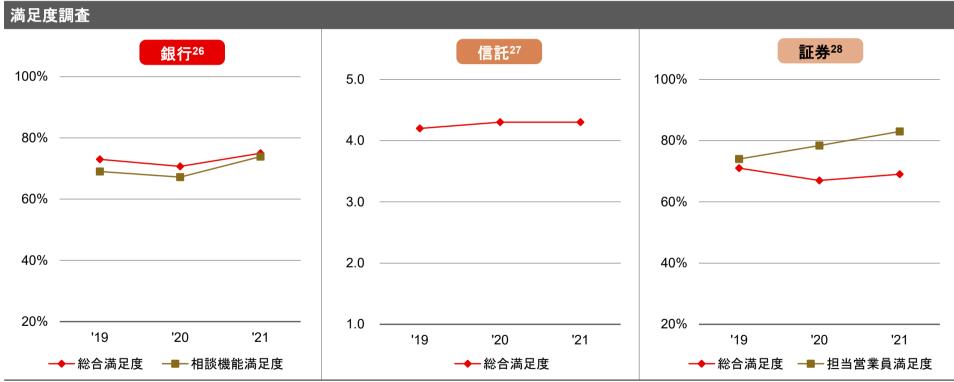






8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備

- (1) 店頭・コールセンター・インターネット等の多様なチャネル整備とともに、安心・安全にお取引いただける態勢を構築してまいります。【原則6】
- お客さまの声を起点としたサービス向上を目的に、定期的に満足度調査を実施しております。 お客さまからの声をサービスの更なる改善に反映させてまいります。



(注) 26. 調査概要/対象者: 無作為に抽出した個人のお客さま(郵送方式送付数:約10,000名/回答数:約2,400名)

総合満足度: 当行との様々な取引を総合的に見て「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

相談機能満足度: 資産運用、ライフプラン、ローンの相談・取引について「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

27. 調査概要/対象者: 直近でお取引をいただいたお客さまから抽出した個人のお客さま(郵送方式 送付数:約19,000名/回答数:約8,000名) 満足度: 当社との様々な取引から、お客さまが担当者を総合的に判断した満足度(「満足している」-「不満である」の5段階)の平均値

28. 調査概要/対象者: 30歳以上、投資性金融資産残高1,000万円以上の個人のお客さまを対象としたインターネット調査(回答数412件)

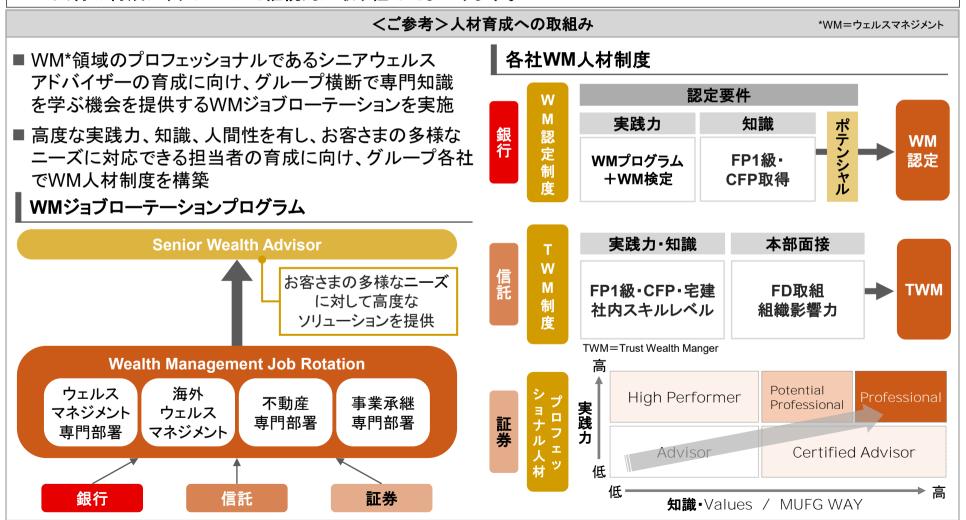
総合満足度: 当社との様々な取引を総合的に見て「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

担当営業員満足度:担当営業員の対応について「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合



9.プロフェッショナリズムの発揮

- (1) お客さまと末永い信頼関係を築くため、プロフェッショナル人材の育成および専門性のさらなる向上に継続的に取り組んでまいります。【原則2】
- 高度化かつ多様化するお客さまの二一ズに対応し、お客さまと末永い信頼関係を築くため、高い専門性と人間性をも つ人材の育成に、グループで継続的に取り組んでまいります。





金融庁公表「顧客本位の業務運営に関する原則」(2021年1月改訂)との対応表

	商家大人の类教演学に関する原則	対応	関係
	顧客本位の業務運営に関する原則 	取組方針	取組状況
原則2	金融事業者は、高度の専門性と職業倫理を保持し、顧客に対して誠実・公正に業務を行い、顧客の最善の利益を図るべきである。金融事業者は、こうした業務運営が企業文化として定着するよう努めるべきである。	1(1)、6(1)、7(1)、 9(1)	P.3-5, 21, 22, 24
(注)	金融事業者は、顧客との取引に際し、顧客本位の良質なサービスを提供し、顧客の最善の利益を図ることにより、自らの安定した顧客基盤と収益の確保につなげていくことを目指すべきである。	"	11
原則3	金融事業者は、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、当該利益相反を適切に管理すべきである。金融事業者は、そのための具体的な対応方針をあらかじめ策定すべきである。	4(2)、5(2)	P.18,20
(注)	金融事業者は、利益相反の可能性を判断するに当たって、例えば、以下の事情が取引又は業務に及ぼす影響についても 考慮すべきである。	"	"
原則4	金融事業者は、名目を問わず、顧客が負担する手数料その他の費用の詳細を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、顧客が理解できるよう情報提供すべきである。	3(3)	P.12
原則5	金融事業者は、顧客との情報の非対称性があることを踏まえ、上記原則4に示された事項のほか、金融商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報を顧客が理解できるよう分かりやすく提供すべきである。	3(2)	P.11
(注1)	重要な情報には以下の内容が含まれるべきである。 顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの基本的な利益(リターン)、損失その他のリスク、取引条件 顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品の組成に携わる金融事業者が販売対象として想定する顧客属性 顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの選定理由(顧客のニーズ及び意向を踏まえたものであると判断する理由を含む) 顧客に販売・推奨等を行う金融商品・サービスについて、顧客との利益相反の可能性がある場合には、その具体的内(第三者から受け取る手数料等を含む)及びこれが取引又は業務に及ぼす影響	"	"
(注2)	金融事業者は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、個別に購入することが可能であるか否かを顧客に示すとともに、パッケージ化する場合としない場合を顧客が比較することが可能となるよう、それぞれの重要な情報について提供すべきである((注 2) ~(注 5)は手数料等の情報を提供する場合においても同じ)。	"	11
(注3)	金融事業者は、顧客の取引経験や金融知識を考慮の上、明確、平易であって、誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供を行うべきである。	"	"



金融庁公表「顧客本位の業務運営に関する原則」(2021年1月改訂)との対応表

		顧客本位の業務運営に関する原則		関係
		関各本位の実務連名に関する原則 	取組方針	取組状況
	(注4)	金融事業者は、顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの複雑さに見合った情報提供を、分かりやすく行うべきである。単純でリスクの低い商品の販売・推奨等を行う場合には簡潔な情報提供とする一方、複雑又はリスクの高い商品の販売・推奨等を行う場合には、顧客において同種の商品の内容と比較することが容易となるように配意した資料を用いつつ、リスクとリターンの関係など基本的な構造を含め、より分かりやすく丁寧な情報提供がなされるよう工夫すべきである。	3(2)	P.11
	(注5)	金融事業者は、顧客に対して情報を提供する際には、情報を重要性に応じて区別し、より重要な情報については特に強調するなどして顧客の注意を促すべきである。	"	11
原	則6	金融事業者は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、当該顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行うべきである。	2(1)、3(1),(5)、 4(1)、5(1)、6(2)、 8(1)	P.6-10,14- 17,19,21,23
	(注1)	金融事業者は、金融商品・サービスの販売・推奨等に関し、以下の点に留意すべきである。	"	11
	(注2)	金融事業者は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、当該パッケージ全体が当該顧客 にふさわしいかについて留意すべきである。	"	"
	(注3)	金融商品の組成に携わる金融事業者は、商品の組成に当たり、商品の特性を踏まえて、販売対象として想定する顧客属性を特定・公表するとともに、商品の販売に携わる金融事業者においてそれに沿った販売がなされるよう留意すべきである。	"	"
	(注4)	金融事業者は、特に、複雑又はリスクの高い金融商品の販売・推奨等を行う場合や、金融取引被害を受けやすい属性の顧客グループに対して商品の販売・推奨等を行う場合には、商品や顧客の属性に応じ、当該商品の販売・推奨等が適当かより慎重に審査すべきである。	"	11
	(注5)	金融事業者は、従業員がその取り扱う金融商品の仕組み等に係る理解を深めるよう努めるとともに、顧客に対して、その属性に応じ、金融取引に関する基本的な知識を得られるための情報提供を積極的に行うべきである。	"	11
原	[則7	金融事業者は、顧客の最善の利益を追求するための行動、顧客の公正な取扱い、利益相反の適切な管理等を促進するように設計された報酬・業績評価体系、従業員研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制を整備すべきである。	3(4)	P.13
	(注)	金融事業者は、各原則(これらに付されている注を含む)に関して実施する内容及び実施しない代わりに講じる代替策の内容について、これらに携わる従業員に周知するとともに、当該従業員の業務を支援・検証するための体制を整備すべきである。	"	11





■ 投資信託の残高上位20銘柄のコスト、リスクに対するリターンをお示ししております。

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄29のコスト/リスク・リターン30(2020年3月) 銀行 銘柄名 コスト リスク リターン 30% ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド 7.92% ■ 残高加重平均 1.87% ▲0.26% 25% 1.25% 2 三菱UFJ インデックス225オープン 0.79% 17.12% 20% JPMベスト・インカム(毎月決算型) 2.07% 8.57% **▲**1.50% 15% UBSオーストラリア債券オープン(毎月分配型) 1.54% 8.54% ▲3.14% 10% 新光US-REITオープン 2.23% **▲**2.24% 16.59% スマート・クオリティ・オープン(安定型) 1.78% 4.73% ▲0.20% 5% 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型) 5.99% ▲0.28% 1.32% 0% 3% 1% 4% 8 フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド 2.29% 11.74% ▲0.71% **▲**5% MUAMグローバル・ケイマン・トラスト -▲3.79% 1.31% 4.37% ▲10% PIMCO インカム・ファンド 円 - 毎月分配クラス コスト 10 ニッセイ J-REITファンド(毎月決算型) 1.54% 12.79% ▲0.44% グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド 11 3.08% 18.04% 0.53% 30% ■ 残高加重平均 12 LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型) 2.49% 21.63% ▲8.32% 25% 13 トレンド・アロケーション・オープン 1.63% ▲2.22% 7.90% 20% 14 JPMベスト・インカム(年1回決算型) 2.07% 8.60% **▲**1.52% 15% 15 フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし) 2.13% 17.37% **▲**1.43% 10% 16 インド債券オープン(毎月決算型) 2.31% 10.32% 0.58% 5% 米国バンクローン・オープンく為替ヘッジなし> 2.42% 10.56% ▲3.49% (毎月決算型) 0% 15% 5% 10% モルガン・スタンレー 20% 25% 35% 30% 11.57% 7.23% 2.64% **▲**5% グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) 19 フィデリティ・世界3資産・ファンド(毎月決質型) 1.95% 8.63% ▲0.44% **▲**10% 20 ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型) 2.47% 13.62% 0.00% リスク 残高加重平均(■) 1.88% 11.10% **▲**1.13%



【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄29のコスト/リスク・リターン30(2021年3月) 銀行 銘柄名 リスク リターン コスト 30% 三菱UFJ インデックス225オープン 0.79% 16.60% 13.38% ■ 残高加重平均 25% JPMベスト・インカム(毎月決算型) 2.06% 8.95% 3.90% 20% ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド 1.87% 7.46% 4.01% 15% UBSオーストラリア債券オープン(毎月分配型) 1.54% 8.40% 2.05% 2 22% 3 79% 2.93% ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド 10% 3 70% 新光US-REITオープン 2.23% 15.83% 5% • スマート・クオリティ・オープン(安定型) 1.68% 4.69% 1.26% 0% 3% 1% 2% 4% フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド 2.29% 11.06% 6.53% **▲**5% 4.03% ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型) 1.54% 13.45% **▲**10% 10 LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型) 2.49% 22.70% 3.80% コスト 11 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型) 1.32% 5.51% 1.20% MUAMグローバル・ケイマン・トラスト -1.31% 4.65% **▲**1.30% 30% PIMCO インカム・ファンド 円 - 毎月分配クラス ■ 残高加重平均 13 グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド 3.08% 15.93% 8.55% 25% 14 JPMベスト・インカム(年1回決算型) 2.06% 8.98% 3.89% 20% 4.65% 15 フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし) 2.13% 16.38% 15% 16 トレンド・アロケーション・オープン 1.62% 7.25% **▲**1.33% 10% モルガン・スタンレー 2.64% 13.13% 11.67% グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) 5% 0 0 18 ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型) 1.87% 13.78% 4.63% 0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% 19 ワールド・リート・オープン(毎月決算型) 2.26% 19.38% **▲**1.18% **▲**5% モルガン・スタンレー 2.64% 10.53% 10.76% **▲**10% グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) ーリスク・ 残高加重平均(■) 4.55% 1.88% 11.00%



【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄29のコスト/リスク・リターン30(2022年3月) 銀行 銘柄名 リスク リターン コスト 30% ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド 2 22% 4.31% 2 64% ■ 残高加重平均 25% 2 三菱UFJ インデックス225オープン 0.79% 16.46% 9.59% 20% 3 JPMベスト・インカム(毎月決算型) 2.75% 2.06% 9.03% 15% 4 ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド 4.29% 1.87% 6.40% 新光US-REITオープン 2.23% 16.83% 9.74% 10% UBSオーストラリア債券オープン(毎月分配型) 1.54% 9.17% 2.38% 5% 7 スマート・クオリティ・オープン(安定型) 1.78% 4.93% 1.68% 0% 3% 8 フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド 2.29% 10.02% 6.22% 1% 2% 4% **▲**5% ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型) 1.54% 14.25% 5.07% ▲10% 10 フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし) 2.13% 17.45% 11.53% コスト 11 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型) 1.32% 4.33% 2.63% アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース 2.39% 16.06% 21.09% 毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型 30% ■ 残高加重平均 13 LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型) 2.49% 23.82% 5.13% 25% 14 グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド 3.08% 15.96% 10.14% 20% MUAMグローバル・ケイマン・トラスト -1.31% 4.89% ▲3.04% PIMCO インカム・ファンド 円 - 毎月分配クラス 15% モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム 2.64% 13.29% 13.78% 株式オープン(為替ヘッジなし) 10% (6) 2.74% 17 JPMベスト・インカム(年1回決算型) 2.06% 9.06% 5% 18 トレンド・アロケーション・オープン 1.62% 7.83% ▲0.80% 0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% 19 eMAXIS 日経225インデックス 0.44% 16.43% 9.65% **▲**5% 20 ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型) 2.47% 15.22% 9.25% **▲**10% ーリスク・ 残高加重平均(■) 1.88% 6.04% 11.21%



【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄²⁹のコスト/リスク・リターン^{30,31}(2020年3月) 信託 銘柄名* リスク リターン コスト 30% 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型) 1 65% 7.01% 1.02% ■ 残高加重平均 25% │ フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド 2.29% 11.74% ▲0.71% 20% 3 豪ドル毎月分配型ファンド 1.65% 9.89% **▲**4.99% 15% ワールド・リート・オープン(毎月決算型) 2.26% 18.40% **▲**8.10% ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型) 12.79% ▲0.44% 1.54% 10% トレンド・アロケーション・オープン 1.62% 7.90% ▲2.22% 5% 三菱UFJ Jリートオープン(3ヵ月決算型) 1.54% 12.64% ▲0.26% 0% 2% │三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型) 1.87% 2.74% 0.22% 1% 3% 4% 0% **▲**5% 9 │優良日本株ファンド 1.54% 17.01% ▲2.21% . . ▲10% 10 | 三菱UFJ バランス・イノベーション(株式重視型) 1.87% 5.22% 0.66% コスト 11 GS エマージング通貨債券ファンド 2.37% 13.09% **▲**3.84% 30% 12 東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型) 1.12% 1.96% 0.75% ■ 残高加重平均 25% 13 ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型) 2.49% 21.19% ▲8.20% 14 三菱UFJ インデックス225オープン 1.25% 0.79% 17.12% 20% JPMペスト・インカム(毎月決算型) 2.06% 8.60% **▲**1.52% 15% 16 東京海上・円資産パランスファンド(年1回決算型) 1.25% 3.44% 0.62% 10% 2.20% ▲0.81% 17 ノムラ日米REITファンド(毎月分配型) 15.08% 5% 18 JPMベスト・インカム(年1回決算型) 2.06% 8.60% **▲**1.52% 0% 19 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型) 1.65% 7.01% 1.04% 10% 15% 5% 20% 25% 30% 35% **▲**5% 20 東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型) 1.25% 3.44% 0.62% **▲**10% 残高加重平均(■) 1.76% 10.14% **▲**1.31% -リスク 【ご参考】MUFGファンドラップ(安定収益追求コース) 1.51% 2.39% 0.77%

(注)31. 三菱UFJ信託銀行で取扱っている投資一任運用商品(MUFGファンドラップ、資産運用口座)を掲載。MUFGファンドラップの公表数値は契約者数が最も多い「安定収益追求コース*」とする。
*安定収益追求コースは2022年6月より「下方リスク抑制コース」へ名称を変更「金融庁 比較可能な共通なKPI」算出定義による算出が不可能であるため、以下算出定義に基づき算出

① リスク、リターン: MUFGファンドラップは取扱いから5年未経過のため、安定収益追求コースと同様の手法で運用した場合のシミュレーションを使用。尚、当該リターンは以下の②コストを控除

② コスト: 以下をコストとして定義



【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄29のコスト/リスク・リターン30,32(2021年3月) 信託 銘柄名 リスク リターン コスト 30% 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型) 5 74% 1.65% 4.41% ■ 残高加重平均 25% フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド 2 29% 11.06% 6.53% 20% 3 豪ドル毎月分配型ファンド 1.65% 9.84% 0.86% 15% ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型) 1.54% 13.45% 4.03% 10% ワールド・リート・オープン(毎月決算型) 2.26% 19.38% **▲**1.18% 三菱UFJ Jリートオープン(3ヵ月決算型) 1.54% 13.40% 3 73% 5% ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型) 2.49% 22.25% 3.63% 0% 3% 0% 1% 2% 4% トレンド・アロケーション・オープン 1.62% 7.25% **▲**1.33% **▲**5% 9 優良日本株ファンド 1.54% 16.46% 8.86% ▲10% 10 三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型) 1.87% 2.54% 0.91% コスト 三菱UFJ バランス・イノベーション(株式重視型) 11 1.87% 4.97% 2.54% 30% 12 GS エマージング 通貨債券ファンド 2.37% 12.13% 0.93% ■ 残高加重平均 13 東京海上・円建て投資適格信券ファンド(毎月決算型) 1.12% 1.76% ▲0.17% 25% 14 JPMベスト・インカム(毎月決算型) 2.06% 8.95% 3.90% 20% 15 ノムラ日米REITファンド(毎月分配型) 2.20% 15.21% 5.32% 15% 16 三菱UFJ インデックス225オープン 0.79% 16.60% 13.38% 10% 17 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型) 1.65% 5.74% 4.42% 5% |東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型) 1.25% 3.46% 0.59% 0% 19 netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース 2.75% 17.00% 23.83% 10% 15% 20% 25% 30% 35% **▲**5% 20 JPMベスト・インカム(年1回決算型) 2.06% 8.98% 3.89% 残高加重平均(■) 1.84% 10.47% 4.12% **▲**10% -リスク-【ご参考】MUFGファンドラップ(安定収益追求コース) 1.26% 2.47% 0.76%

(注) 32. 三菱UFJ信託銀行で取扱っている投資ー任運用商品(MUFGファンドラップ)を掲載。MUFGファンドラップの公表数値は契約者数が最も多い「安定収益追求コース*」とする。
*安定収益追求コースは2022年6月より「下方リスク抑制コース」へ名称を変更「金融庁 比較可能な共通なKPI」算出定義による算出が不可能であるため、以下算出定義に基づき算出
①リスク、リターン:モデルポートフォリオの数値を使用(実際の運用実績とは異なる)。信託報酬および以下②コストを控除
②コスト: 投資一任報酬。固定報酬の最も高い料率とし、3年目以降は所定の報酬率の70%の料率を適用する長期保有割引制度を反映



【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄²⁹のコスト/リスク・リターン^{30,32}(2022年3月) 信託 銘柄名 リスク リターン コスト 30% 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型) 1.65% 4.55% ■ 残高加重平均 6.17% 25% │ フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド 2.29% 10.02% 6.22% 20% **豪ドル毎月分配型ファンド** 1.77% 1.65% 10.66% 15% ワールド・リート・オープン(毎月決算型) 2.26% 20.07% 4.24% 10% 5.07% ニッセイ J- REITファンド(毎月決算型) 1.54% 14.25% 5% 三菱UFJ Jリートオープン(3ヵ月決算型) 1.54% 13.99% 5.84% 0% ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型) 2.49% 23.38% 5.02% 1% 2% 3% 4% 0% **▲**5% 4.31% 2.64% ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド 1.35% ▲10% トレンド・アロケーション・オープン 1.62% 7.83% ▲0.80% コスト ノムラ日米REITファンド(毎月分配型) 2.20% 15.99% 10.53% 11 三菱UFJ インデックス225オープン 0.79% 16.46% 9.59% 30% 12 三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型) 1.87% 2.90% 0.97% ■ 残高加重平均 13 優良日本株ファンド(ちから株) 7.21% 1.54% 16.40% 25% JPMベスト・インカム(毎月決算型) 9.03% 2.75% 2.06% 20% 15 三菱UFJ パランス・イノベーション(株式重視型) 1.87% 5.47% 2.69% 15% 16 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型) 4.56% 1.65% 6.17% 10% • 2.75% 22.31% netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース 18.24% 5% アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 2.39% 16.06% 21.09% 0% 毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型 25% 30% 10% 15% 20% 35% **▲**5% 19 東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型) 1.12% 1.59% ▲0.10% 20 JPMベスト・インカム(年1回決算型) **▲**10% 2.06% 9.06% 2.74% -リスク 残高加重平均(■) 1.85% 10.88% 5.45% 【ご参考】MUFGファンドラップ(安定収益追求コース) 1.26% 2.69% 0.18%



【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄29のコスト/リスク・リターン30(2020年3月) 証券 銘柄名 リスク リターン コスト 30% スマート・クオリティ・オープン(安定型) 1.78% 4.73% ▲0.20% ■ 残高加重平均 25% 2 ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型) 2.47% 13.62% 0.00% 20% モルガン・スタンレー 5.82% 2.64% 14 85% グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) 15% 三菱UFJ/AMPグローバル・インフラ債券ファンド 1.76% 8.96% ▲0.50% <為替ヘッジなし>(毎月決算型) 10% LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型) 2.49% 21.63% ▲8.32% 5% JPX日経400アクティブ・プレミアム・オープン 18.48% ▲0.92% 2.46% 毎日決算型 0% 2% 0% 4% 1% 3% 7 JPMベスト・インカム(毎月決算型) 2.06% 8.57% **▲**1.50% **▲**5% モルガン・スタンレー . 7.23% 2.64% 11.57% **▲**10% グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) コスト インド債券オープン(毎月決算型) 0.58% 2.31% 10.32% 10 三菱UFJ Jリートオープン(3ヵ月決算型) 1.54% 12.64% ▲0.26% 11 フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド 2.29% 11.74% ▲0.71% 30% ■ 残高加重平均 12 東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン 2.02% 17.66% 15.92% 25% 13 三菱UFJ インデックス225オープン 0.79% 17.12% 1.25% 20% アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 2.39% 16.31% 8.60% 毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型 15% 15 グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド 0.53% 3.08% 18.04% 10% 16 新光US-REITオープン 2.23% 16.59% ▲2.24% 5% 17 グローバル・エマージング・ボンド・オープン 2.33% 7.41% ▲0.27% 0% 18 イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド 2.61% 27.03% ▲8.17% 15% 5% 10% 20% 25% 30% 35% **▲**5% 19 グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型) 1.71% 5.19% ▲0.56% **▲**10% 20 イーストスプリング・インド消費関連ファンド 2.61% 23.71% **▲**4.19% ーリスク・ 残高加重平均(■) 2.22% 0.59% 13.43%



【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄29のコスト/リスク・リターン30(2021年3月) 証券 銘柄名 リスク リターン コスト 30% MUAMグローバル・ケイマン・トラスト -■ 残高加重平均 2.31% 4.67% 2.76% PIMCO インカム・ファンド 円 - 毎月分配クラス 25% モルガン・スタンレー 2.64% 13.13% 11.67% 20% グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) • 3 スマート・クオリティ・オープン(安定型) 1.78% 4.69% 1.26% 15% アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 2.39% 15.21% 18.93% 10% 毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型 三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド 1 76% 8.59% 3 64% 5% <為替ヘッジなし>(毎月決算型) │ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型) 2 47% 13 78% 4 63% 0% 1% 2% 3% 4% 7 LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型) 2.49% 22.70% 3.80% **▲**5% 8 ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド 2 22% 3 79% 2 93% **▲**10% モルガン・スタンレー 2.64% 10.53% 10.76% グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) コスト 10 JPM ベスト・インカム(毎月決算型) 2.06% 8.95% 3.90% アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース 2.39% 17.43% 13.34% 毎月決算型(為替ヘッジあり)予想分配金提示型 30% ■ 残高加重平均 JPX日経400アクティブ・プレミアム・オープン 2.46% 16.03% 7.73% 25% (毎月決算型) netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース 23.83% 20% 2.75% 17.00% (為替ヘッジなし) . 14 フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし) 15% 2.20% 16.38% 4.65% ウエスタン・アセット・オフショア・ファンド・シリーズ -1.53% 2.31% 8.99% 10% WA トータルリターン・オポチュニティーズ 円(毎月)クラス 16 イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド 2.61% 28.38% 9.91% 5% (グローバル・スマート・イノベーション・オープン 17 2.64% 19.73% 24.64% 0% (年2回決算型) 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% 18 フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド 2.29% 11.06% 6.53% **▲**5% 19 東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン 2.02% 17.66% 26.71% **▲**10% 20 グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型) 2.60% 18.81% 19.06% -リスク・ 残高加重平均(■) 2.33% 12.44% 9.02%



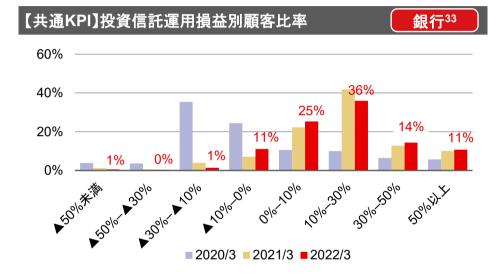
【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄29のコスト/リスク・リターン30(2022年3月) 証券 銘柄名 リターン コスト リスク 30% アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース ■ 残高加重平均 2.39% 16.06% 21.09% 毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型 25% モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム 2.64% 13.29% 13.78% 20% 株式オープン(為替ヘッジなし) ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド 2.22% 4.31% 2.64% 15% MUAMグローバル・ケイマン・トラスト-PIMCO インカ 2.31% 4.90% 0.54% <u>----</u> 10% ム・ファンド 円-毎月分配クラス アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース 2.39% 15.69% 17.53% 5% 毎月決算型(為替ヘッジあり)予想分配金提示型 三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド 0% 1.76% 8.36% 3.95% <為替ヘッジなし>(毎月決算型) 2% 3% 0% 1% 4% モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープ **▲**5% 2.64% 11.48% 10.29% ン(為替ヘッジあり) **▲**10% ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型) 2.47% 9.25% 15.22% コスト スマート・クオリティ・オープン(安定型) 1.78% 4.93% 1.68% アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース 2.39% 21.21% 16.15% (為替ヘッジなし) 11 フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし) 2.20% 11.53% 30% 17.45% ■ 残高加重平均 12 LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型) 2.49% 23.82% 5.13% 25% 13 JPMベスト・インカム(毎月決算型) 2.06% 9.03% 2.75% 20% netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース . 2.75% 18.24% 22.31% (為替ヘッジなし) 15% MUAMグローバル・ケイマン・トラスト-PIMCO インカ 2.31% 4.90% 0.59% ム・ファンド 円-年1回分配クラス 10% JPX日経400アクティブ・プレミアム・オープン 16 2.46% 16.12% 10.17% 5% (毎月決算型) 17 イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド 2.61% 28.38% 11.36% 0% 18 東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン 2.02% 17.94% 18.26% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% **▲**5% 19 東京海上・円資産パランスファンド(毎月決算型) 1.14% 3.60% 0.21% **▲**10% 20 フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド 2.29% 10.02% 6.22% -リスク・ 12.75% 残高加重平均(■) 2.31% 10.75%



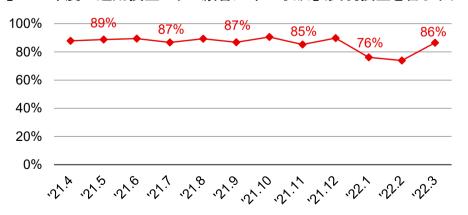
【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄29のコスト/リスク・リターン30(2020年3月) PB証券 銘柄名 リスク リターン コスト 30% MUAMグローバル・ケイマン・トラスト -■ 残高加重平均 2.31% 4.41% 0.44% PIMCO インカム・ファンド 円 - 毎月分配クラス 25% フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし) 2.20% 17.37% **▲**1.43% 20% モルガン・スタンレー 2.64% 7.23% 11.57% グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) 15% イーストS・インドネシア債券(毎月決算型) 2.31% 15.98% ▲2.66% 10% DIAM J-REITオープン(毎月決算コース) 1.76% 13.50% **▲**1.10% 5% モルガン・スタンレー 2.64% 14.85% 5.82% グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) 0% 4% 1% 2% 3% 7 ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド 2.22% 3.47% 1.73% **▲**5% GSバンク・キャピタル証券ファンド円クラス 2.18% 5.56% 0.19% ▲10% LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型) 2.37% 19.88% **▲**1.42% コスト 10 LM・オーストラリア毎月分配型ファンド 1.93% 8.98% ▲3.46% イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド 2.35% 10.05% 0.69% (毎月決算型) 30% ■ 残高加重平均 12 GSエマージング诵貨債券ファンド 13.09% ▲3.84% 2.48% 25% DWSグローバル公益債券ファンド Aコース 2.02% 5.75% ▲0.50% (為替ヘッジあり) 20% 14 ピクテ・ゴールド 1.32% 10.61% 1.92% 15% 15 GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース 2.56% 10.28% **▲**1.00% 10% 1.75% 16 ハイブリッド・セレクション 1.85% 16.86% 5% 17 ブラックロック・ゴールド・ファンド 2.86% 25.70% 0.20% 0% 18 DIAM Aspectマネージド・フューチャーズ(円クラス) 3.91% 14.84% **▲**4.57% 15% 5% 10% 20% 25% 30% 35% 19 LM・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型) 2.57% 18.02% **▲**4.82% **▲**5% GSオーストラリア・ハイブリッド証券ファンド 円クラス 2.39% **▲**10% 3.45% ▲0.17% (為替ヘッジあり) ーリスク・ 残高加重平均(■) 2.29% 0.25% 10.19%



- 投資信託・ファンドラップをご購入いただいたお客さまの運用損益状況をお示ししております。
- なお、MUFGでは、よりお客さまの実感に近い内容でお伝えすることを目的に、金融庁公表の定義に加え、過去の全部売却や償還により実現した損益を勘案した結果を合わせて公表しています。

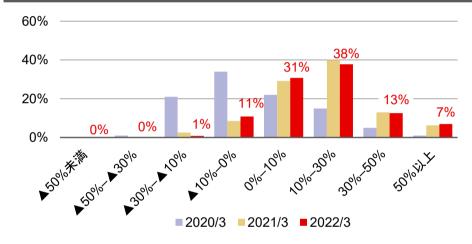


【2021年度の運用損益プラス顧客比率の状況】(実現損益を含まず)

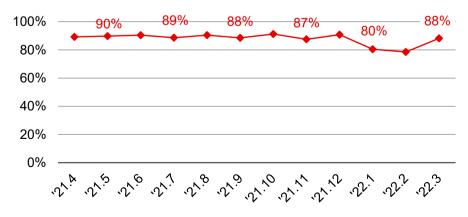




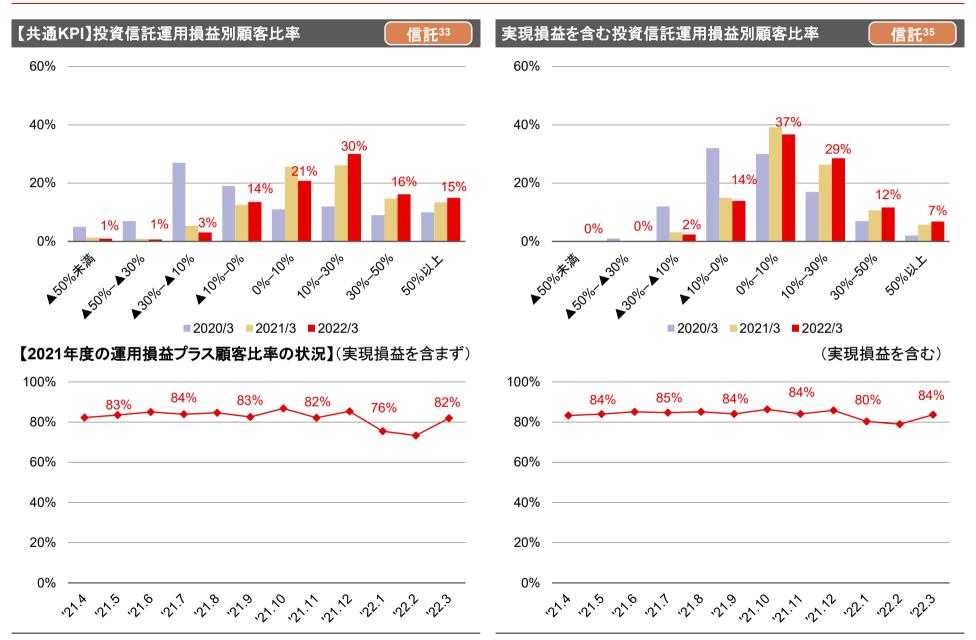


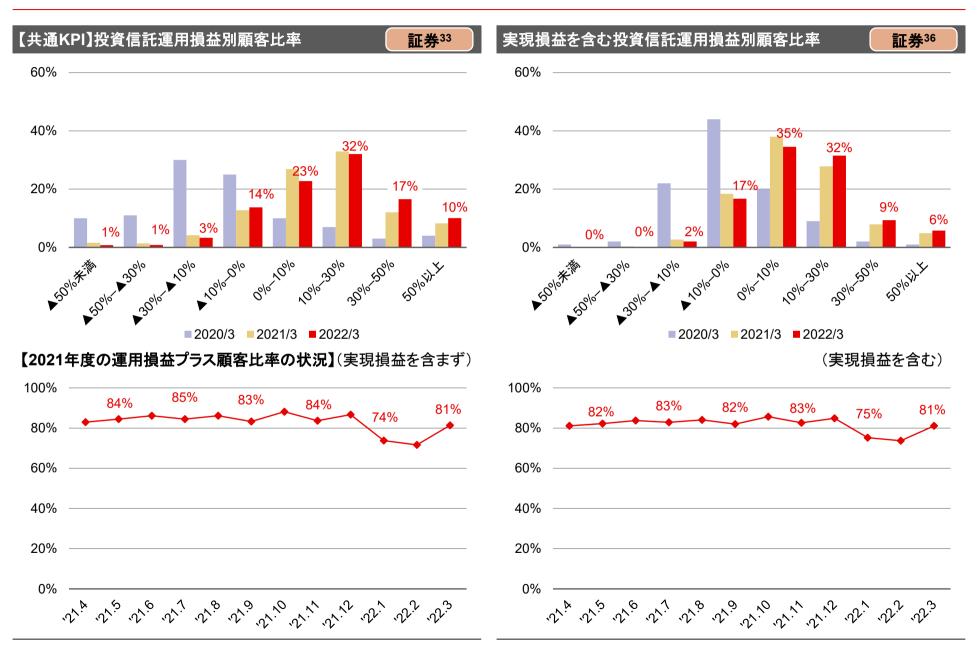


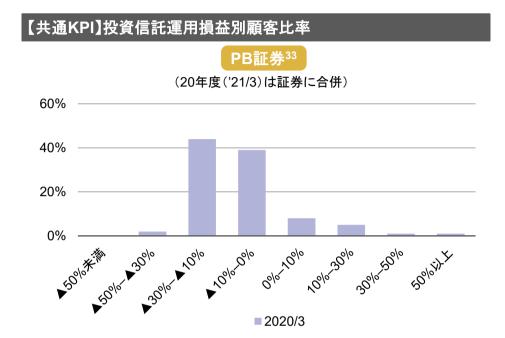
(実現損益を含む)

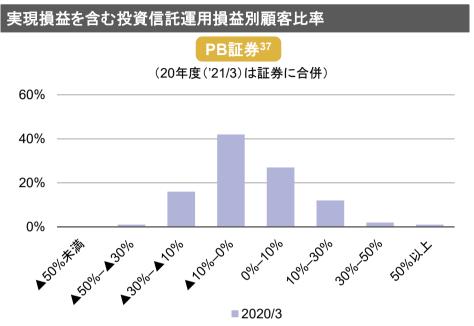




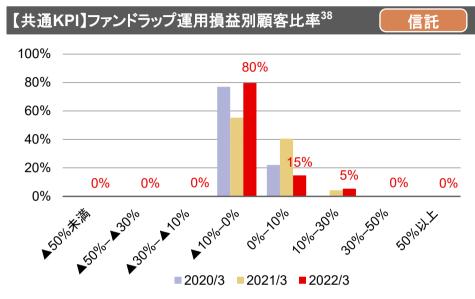




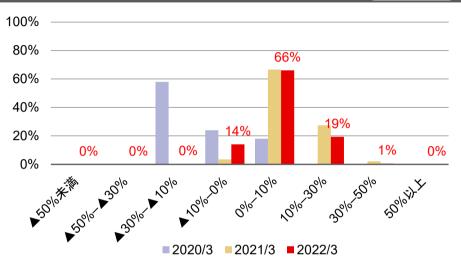




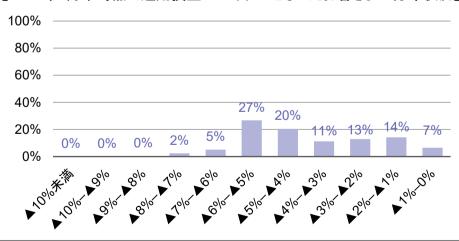




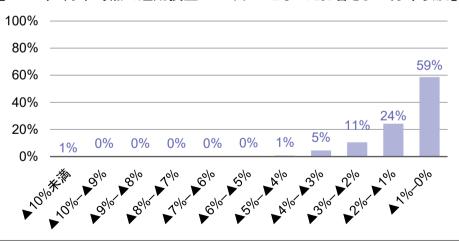
【共通KPI】ラップサービス運用損益別顧客比率39 証券



【2022年3月末時点で運用損益がマイナスとなったお客さまの分布状況】



【2022年3月末時点で運用損益がマイナスとなったお客さまの分布状況】



(注) 38. ①MUFGファンドラップトータルリターン

【計算式】(1) 月次収益率=(1+r1)(1+r2)...(1+rn)-1 ※r1~rn:各日次収益率

(2) 上記(1)を運用期間の月数分乗算

期間の収益率(1+R1)(1+R2)...(1+RN)-1※R1~RN:各月次収益率

②資産運用口座トータルリターン

【計算式】基準日時価評価金額・投資元本※投資元本:一部出金、追加増額を考慮

39. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「基準日時価評価金額」。分子は、「基準日時価評価金額+累計払戻金額-累計払込金額」



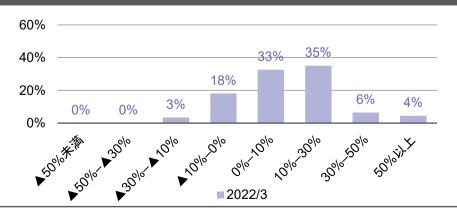
共通KPI(外貨建保険)

■ 外貨建一時払保険の残高上位20銘柄のコスト対するリターン、運用評価別顧客比率をお示ししております。

なお、保険は投資信託とは異なり保障機能を有するものの、上記の指標には同機能が反映されていないため、上記の指標のみをもって投資信託と単純に比較することは必ずしも適切では ないことに留意が必要です。また、外貨建保険の銘柄別コスト・リターンについては、投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンと、定義とするコストの概念が異なることから、投資 信託とコスト同士で比較することは適切でないことにも留意が必要

【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄⁴⁰のコスト・リターン⁴¹(2022年3月) 7% 6% 5% 4% 3% 2% 1% 0% 41% 0% 41% 0% 41% 2% 5 7 8 8 8 8 9 4 7 8 8 9 4 7 8 8 9 4 7 8 8 8 9 4 9 4 9 4 9 4 9 4 9 4 10 10 10

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率⁴²



	銘柄名	コスト	リターン
1	新・フォーライフカレンシーNext	0.96%	1.28%
2	新・フォーライフカレンシー	0.76%	3.06%
3	未来につなげる終身保険	1.23%	1.23%
4	ハイ・ファイブNext<米ドル建>	0.52%	3.51%
5	フォーライフカレンシーNeo	0.59%	2.81%
6	ディアマイファミリー	0.74%	3.04%
7	豪ドルターゲットプラス	1.03%	0.67%
8	豪ドルターゲットプラス2	1.32%	▲0.49%
9	生涯プレミアムワールド3	0.99%	0.67%
10	プライムターゲット(外貨)	1.27%	1.43%
11	米ドルターゲットプラス	0.97%	1.10%
12	米ドルターゲットプラス2	1.21%	▲0.65%
13	豪ドルターゲットプラス3	1.36%	0.25%
14	ロングドリームGOLD	1.03%	1.65%
15	未来を楽しむ終身保険	1.58%	0.92%
16	プライムターゲット2(外貨)	1.41%	0.81%
17	ディア マイ ファミリーエ	1.45%	2.40%
18	米ドルターゲットプラス3	1.36%	0.89%
19	ハイ・カレンシーNeo	0.54%	2.70%
20	生涯プレミアム	0.29%	5.89%
	残高加重平均(■)	0.94%	1.70%

(注)40. 2022年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高(最大)上位20銘柄



^{41.} コスト: (「新契約手数料率」+「継続手数料率」×支払回数(基準日時点での実支払回数)を経過月数を用いて年率換算 ※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用 リターン: 基準日時点の解約返戻金額+基準日までの既支払金額の増加率を年率換算

リターン:基準日時点の解約返戻金額+基準日までの既支払金額の 42. 2022年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

共通KPI(外貨建保険)

【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄⁴⁰のコスト・リターン⁴¹(2022年3月) 7% 6% 5% 4% 4% 3 プレミアジャンプ・3 4 プレミアジャンプ・3 5 フォーライフセレク 6 プレミアカレンシー 7 ラップドリーム 8 ディアマイファミリ・ 9 ディア マイ ファミ

(共通KP	I】外貨	建一時	払保険	損益別	顧客	比率42		
60%					55%	6		
40%						26%		
20%			3%	14%			00/	4.0/
0%	0% **	0%		ala	2/2	ala	0%	1%
▶ 50°	10 * 10 10 ·	3090	10810 NO	10,0010	10 VO	30 ¹⁰ 30 ⁹	, 40g	10.01 T
		> 3		2 02	22/3			

	銘柄名	コスト	リターン
1	生プレワールド3	0.89%	0.94%
2	ロングドリームGOLD	0.92%	1.25%
3	プレミアジャンプ	1.02%	0.44%
4	プレミアジャンプ・年金(外貨建)	1.15%	0.52%
5	フォーライフセレクト	0.44%	1.23%
6	プレミアカレンシー・プラス	0.93%	1.59%
7	ラップドリーム	1.31%	1.29%
8	ディアマイファミリー	0.57%	2.87%
9	ディア マイ ファミリーエ	1.26%	2.15%
10	生涯プレミアムワールド2	0.54%	2.61%
11	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	1.29%	1.53%
12	わくわくターゲット	0.50%	0.74%
13	アトランティック	0.10%	2.73%
14	生涯プレミアム	0.29%	6.39%
15	生プレ・ワールド	0.41%	4.87%
16	シリウスデュアル	0.10%	2.78%
17	ロングドリームプラス	0.69%	0.97%
18	ファイブ ストーリーズ	0.33%	5.89%
19	ファイブ ストーリーズ プラス	0.52%	5.67%
20	ロングドリーム	0.32%	3.10%
	残高加重平均(■)	0.90%	1.09%

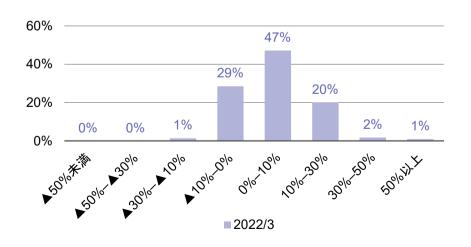


信託

共通KPI(外貨建保険)

		HE 77	
	銘柄名	コスト	リターン
1	エムソリューションⅢ 終身保険型	1.13%	0.60%
2	エムソリューションⅢ 年金型	0.90%	3.51%
3	しあわせ、ずっと	0.84%	2.13%
4	ロングドリームGOLD	0.91%	0.62%
5	プライムターゲット2(外貨)	1.41%	0.29%
6	プライムターゲット2・年金(外貨)	1.41%	2.44%
7	プレミアカレンシー・プラス	0.51%	2.11%
	残高加重平均(■)	1.09%	1.03%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率⁴²





証券

※ 当資料におけるMUKAMの「ファンドアワード受賞本数」

- ●「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。 当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。
- リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードは、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益ー 貫性)」(リスク調整後リターン)を用い、評価期間3年、5年、10年でファンドを評価いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、<u>lipperfundawards.com</u>をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。
- Morningstar Award "Fund of the Year 2021"は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター株式会社が信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。
- 著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar,Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
 当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、各部門において総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。
- ※ 当資料におけるMUKAMの「運用会社からの情報提供の質・満足度に関する評価」
 - 追加型株式投信(除くETF)残高上位9社のファンドを保有する受益者(2,511名)を対象にインターネット調査を実施(株式会社マクロミル社に調査を委託)
 - 全国20-79歳の男女、対象運用会社の投信を3年以内に購入した投資家を対象に調査、サンプルの重複はなし
 - 保有するファンドの運用会社からの情報に対して、その運用会社に対する以下4つのイメージについて選択(「その通りである」「まあその通りである」 「あまりその通りではない」「その通りではない」のうち、「その通りである」または「まあその通りである」と答えた比率を表示) [信頼感]きちんと情報開示されており信頼できる、[納得感]保有している商品の情報がわかりやすく提供されるので納得感がある、[安心感]必要な情報が提供されており安心できる、[迅速性]タイムリー、丁寧な情報提供がされる

